

辛子明太子中の発色剤の分析に伴う不確かさの推定

保健科学課 菅弘樹

第 58 回全国衛生化学技術協議会年会

取去検査に代表される食品の規格基準の適合判定を目的とする検査において、分析値の品質を保証することは重要である。「食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」では、検査の信頼性を確保するため、測定の不確かさの評価の検討に努めることとされている。

福岡市では、食品衛生監視指導計画において辛子明太子の衛生対策を重点項目としている。そこで、21 日間 2 併行で実施した添加回収試験のデータを解析し、トップダウンアプローチによる辛子明太子中の亜硝酸根分析における不確かさの推定を行った。

その結果、当所における辛子明太子中の亜硝酸根の分析値に付随する拡張不確かさは 0.00040 g/kg と推定され、拡張不確かさを考慮した分析値の範囲は $0.0040 \sim 0.0047 \text{ g/kg}$ であった。これにより、辛子明太子中の亜硝酸根における分析値の信頼性を定量的に説明することが可能となった。